

New Hope

～札幌ペンテコステ教会ニュース～

2013年7月

人生の重荷

人生というものは、いつでも快調、順風満帆、というわけにはいかないものです。健康、経済、将来、選択、学業、恋愛、結婚、子育て、就職、人間関係など、古代から変わらずに困りごと・悩みの種は尽きないものです。

ある人は、自らの意志と行動力でそれを何とかしようとし、またある人は頼り甲斐のある人物に頼り、ある人は将来を悲観し、また行き詰まって自ら命を絶ってしまう方さえ少なくないのが現状です。

札幌ペンテコステ教会

主任牧師 矢巻 邦彦

札幌市中央区南 14 条西 18 丁目 4-5

TEL&FAX 011-561-5072

<http://sapporopk.com/>



苦勞している人は

すべて重荷を負うて苦勞している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。

(新約聖書 マタイによる福音書 第 11 章 28 節)

重い荷物を背負っている、と感じていますか。苦勞していますか。もしそうなら、『わたし』のもとに行けば、安らぎを得ることができるというので

す。これは約 2 千年も前にイエス・キリストが語った言葉です。

『私のもとにきなさい』

今も有効な『招待』

この『招待』は、今でも有効です。なぜなら、

イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変ることがない。

(新約聖書 ヘブル人への手紙 第 13 章 8 節)

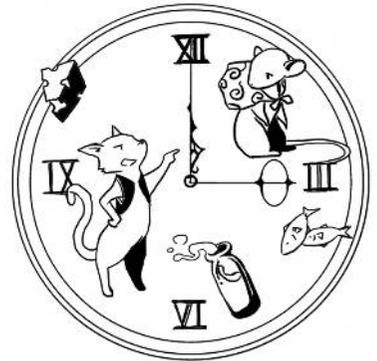
単なる歴史上の人物、昔の偉い人くらいのイメージしか無かったのかも知れませんが、架空の存在だと思っている方もおられるのかも知れません。しかし、それは違います。もしあなたが実際にイエス・キリストに『出会う』ならば、そのイメージは一変することでしょう。『わたしのもとにきなさい』と言われた方は、あなたが求めるなら、生きて、働いていることをあなたに具体的に現されます。

求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。すべて求める者は得、捜す者は見いだし、門をたたく者はあけてもらえるからである。

(新約聖書 マタイによる福音書 第7章7節)

求めもしない、興味も持たない人にとっては、ただの馬鹿げたお話にしか感じられないのかも知れません。しかし、イエス・キリストを知った人は、適切な助言者、人生の原動力、あらゆる問題に対処するための力の源泉を得るのです。

「わたしのような人間には、その資格が無い」「もっとマシな人間になったら、求めてみようかなあ」……そんな風に、自分に自信が無い方がおられるかも知れません。でも、自分で資格審査をする必要はありません。例外なく「誰でも」「すべての人に」イエス・キリストのもとに行く資格が無償で与えられているからです。必要なのは、あなたの「決意」「決断」だけなのです。



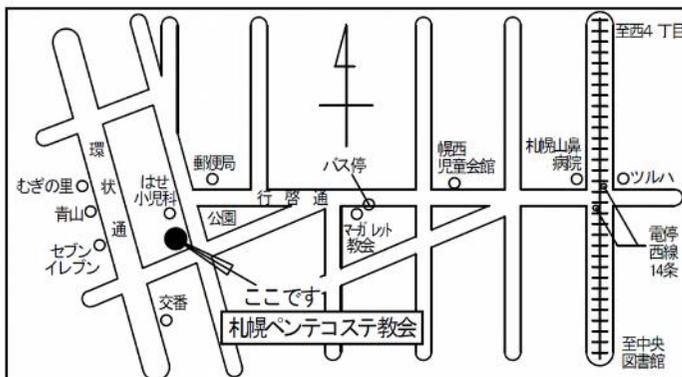
祈ってみましょう

イエスさま。わたしの人生には負いきれない「重荷」があります。それを、あなたのもとに持っていきます。どうか、わたしを休ませ、力づけ、強めて下さい。イエスさま自身のことを良く知り、理解し、受け入れることができるように助けて下さい。イエス・キリストのお名前によってお祈りいたします。

教会の定期集会のご案内

- GP クラブ 子どものためのプログラムです。(毎週日曜日 あさ 9:00~10:00)
- 聖日礼拝 聖書を通じて神さまを知ります。(毎週日曜日 あさ 10:30~12:00)
- 祈り会 神さまを賛美し祈り新たな力を受けます。(毎週木曜日 よる 7:00~8:30)

どの集まりも参加自由、入場無料です。それぞれ、自由献金の時間がありますが、「感謝の気持ちをささげる」ためのもので、各自の自由です。



教会のホームページ

<http://sapporopk.com/>

NewHope のバックナンバーを読んだり、教会の様子を見たりすることができます。

西4丁目電停から市電にて
西線14条下車

JR 札幌駅札幌ターミナルから、
JR 北海道バス啓明線[51]にて
南14条西17丁目下車